



【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、5月12日現在、屋久島御崎の南5.8マイル付近にある。

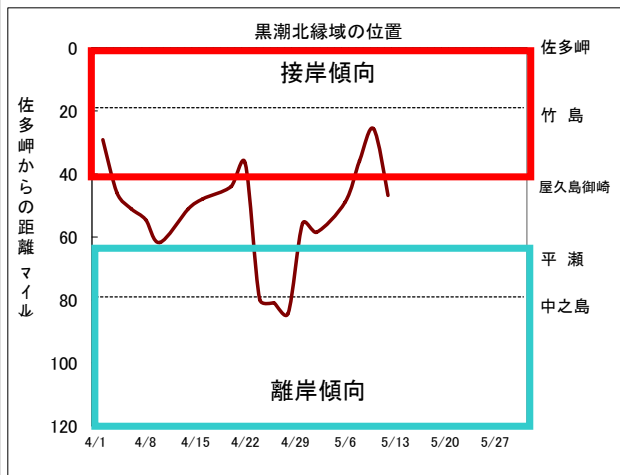
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、5月11日現在、61マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、全ての海域で0.1～3.2℃昇温した。

平年比較では、佐多岬、与路島で“やや低め”，竹島、笠利崎、与論で“平年並”，その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.8	+0.8	+0.3	やや高め
鹿児島	21.4	+3.2	+0.9	やや高め
佐多岬	20.5	+1.6	-0.6	やや低め
竹島	23.0	+2.2	+0.5	平年並
屋久島御崎	24.3	+1.8	+0.8	やや高め
中之島	25.8	+1.3	+0.8	やや高め
笠利崎	23.2	+0.7	-0.4	平年並
与路島	22.4	+0.1	-0.8	やや低め
与論	23.5	+0.7	-0.2	平年並
甕海峡	21.5	+0.3	+1.2	やや高め

鹿児島ー那覇定期客船観測は5/12-13
 串木野ー甕定期客船観測は5/12

【漁況】

○定置網

甕島海域では、ブリ(7～9kg)が450kg/日、ゴクラクメジナ(1kg)が110kg/日、メジナ(800～900g)が110kg/日、マシ(100～200g)が100kg/日の入網。西薩南部海域では、ブリ(5～6kg)が3～7トン/日、マサハ(600g)が1～7トン/日、シラ(2～3kg)が200～500kg/日、イサキ(300～500g)が50～600kg/日、1日のみヒラマサ(2～3kg)が2.9トン、カンパチ(1～2kg)が300kgの入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、マサハ(600～700g)が6～8トン/日、フエキダイ(2kg)が1トン/日、ヒラマサ(3～6kg)が450～900kg/日、1日のみマシ(70～80g)が1.5トンの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でマサハ(500～800g)が4トン、イサキ(200～600g)が390kg、マシ(400g)が200kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で47統がウルメイワシ、マシ小、サハ類小主体に52トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカタチイワシ、マシ、ニハ類主体に20トンの入網。

○キビナゴ刺網

甕島海域では、5～20箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、3～10箱/隻・日の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2805報)

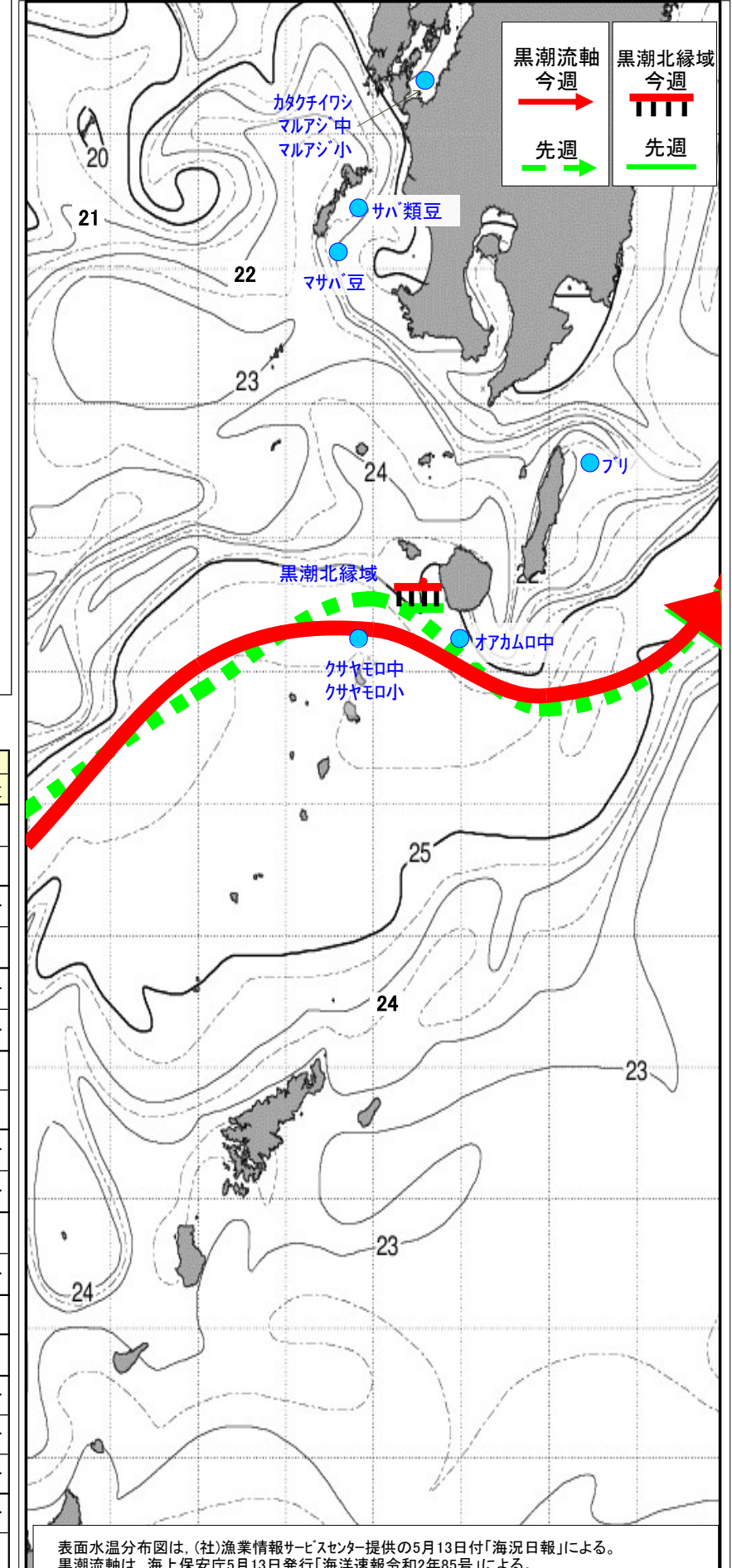
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	前週		前年同期	
							隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	1	5	サハ類豆100	4.6	1	14	2	30
		中	4	16	長島	4.0	10	176	1	8
	枕崎	大	1	20	口之島	19.8	0	—	0	—
		中	5	138	屋久島南 種子島東 甕下	27.5	6	253	1	11
	内之浦	中	0	—		—	0	—	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
計	大	2	24		12.2	1	14	2	30	
	中	9	154		17.1	16	429	2	19	
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—		—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	3	0.7	阿久根沖	キビナゴ62 マイワシ仔21 サハ類仔13	0.2	15	22	18	9
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	47	52		ウルメイワシ24 マシ小18 サハ類小16	1.1	0	—	35	74
刺網	阿久根	61	8	阿久根沖 長島 甕 川内沖	キビナゴ100	0.1	37	4	51	8
カツオ竿釣	枕崎	大	1	223	カツオ大95	222.5	0	—	0	—
		小	0	—		—	0	—	0	—
	海旋	中	0	—		—	0	—	0	—
		海旋	0	—		—	0	—	0	—
海外旋網	山川	中	0	—		—	0	—	0	
	海旋	1	763		カツオ小67 カツオ中24 キハダ8	763.4	0	—	1	752

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中トビを50～70箱/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを1日のみ7箱/統、中トビを47～150箱/統・日、中中トビを18～33箱/統・日、中中小トビを30～51箱/統・日、小トビを6～28箱/統・日、セトビを3～9箱/統・日、青トビを4～5箱/統・日の漁。

○その他

西薩海域では、ごち網でマダイ(0.5～1kg)を12～36kg/隻・日、カワリ(100～150g)を45～100kg/隻・日の漁。底曳網でツキヒカイ(100g)を1日のみ47kg/隻の漁。刺網でコウイカ(1kg)を20kg/隻・日、ハダイ(0.5～1kg)を1日のみ100kg/隻の漁。延縄でアカマダイ(300g)を13～25kg/隻・日の漁。一本釣りイサキ(300～700g)を10～20kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒゲナガエビを50～100kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、潜水器漁業でトサカリを3.1～4トン/日の漁。種子島海域では、曳縄でハカツオ(2kg)を50～70kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りゴマサハ(500～600g)を20～30尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しでソデイカ(胴体のみ7kg)を日帰り操業で4～5ハイ/隻、2～3日操業で10～13ハイ/隻、1隻のみ6日操業で45ハイの漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の5月13日付「海況日報」による。
 黒潮流軸は、海上保安庁5月13日発行「海洋通報令和2年85号」による。